

## 技術提案の改善過程

|          |   |
|----------|---|
| 工事件名     | 都市計画事業 中部浄化センターA消化槽建設工事(7001工区)【総合評価方式】 |
| 発注者名     | 熊本市上下水道局                                |
| 入札公告     | 平成 29 年 9 月 13 日                        |
| 技術提案の提出  | 平成 29 年 11 月 28 日                       |
| 技術対話     | 平成 29 年 12 月 6 日                        |
| 技術提案の再提出 | 平成 30 年 1 月 26 日                        |

### 【技術提案の改善に係る過程の概要：JFEエンジニアリング 株式会社 九州支店】

| 項目   | 内 容            | 要求事項(概要)   | 市からの改善要請事項                   | 競争参加者の改善状況 |
|------|----------------|--|------------------------------|------------|
| 設計諸元 | 計画処理<br>汚泥     | 下記、設計諸元を満足すること。<br>2)運転時間 24時間/日、365日<br>連続                        | 明示すること。                      | 明示した。      |
| 消化設備 | 防食             | 消化槽内面には防食対策を施すこと。防食塗装を施す場合は、下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアルに準拠すること。 | 具体的に明示すること。                  | 具体的に明示した。  |
| 消化設備 | 主要施設、<br>設備の配置 | 効率的、合理的な施設配置とすること。   | 機械棟内の導線に関して具体的に別途図面等で明示すること。 | 具体的に明示した。  |
| 加温設備 | 熱交換システム        | 供給される温水及び蒸気からの熱を交換するシステムを構築すること。                                   | プロパン受入設備に関して具体的に明示すること。      | 具体的に明示した。  |
| 熱回収  | 配管             | 蒸気、温水配管は保温を施したうえで敷設すること。   | 保温に関して具体的に明示すること。            | 具体的に明示した。  |

## 技術提案の改善過程

|          |   |
|----------|---|
| 工事件名     | 都市計画事業 中部浄化センターA消化槽建設工事(7001工区)【総合評価方式】 |
| 発注者名     | 熊本市上下水道局                                |
| 入札公告     | 平成 29 年 9 月 13 日                        |
| 技術提案の提出  | 平成 29 年 11 月 28 日                       |
| 技術対話     | 平成 29 年 12 月 6 日                        |
| 技術提案の再提出 | 平成 30 年 1 月 26 日                        |

### 【技術提案の改善に係る過程の概要:水King 株式会社 九州支店】

| 項目   | 内容           | 要求事項(概要)  | 市からの改善要請事項            | 競争参加者の改善状況 |
|------|--------------|---|-----------------------|------------|
| 基本条件 | 消化方式         | 一段消化方式であること。  | 明示すること。               | 明示した。      |
| 熱回収  | 配管           | 蒸気、温水配管は保温を施したうえで敷設すること。  | 保温に関して具体的に明示すること。     | 具体的に明示した。  |
| 電気設備 | 運転操作設備       | 自動運転に必要な制御回路は、本工事にて設置する動力制御盤にて構築するものし、運転維持管理に必要な現場操作盤は、本工事にて設置する。   | 消化槽攪拌機の現場操作盤の追記を行うこと。 | 追記した。      |
| 基礎工事 | 構造計算         | 基礎については、その形状より、「下水道施設の耐震対策指針と解説-2014年版-」(社)日本下水道協会)における、構造形Ⅲ類(版状構造物)となるため、この構造形に則した構造計算(耐震計算)を行うこと。   | 基礎に関する構造計算を追記すること。    | 追記した。      |
| 建築工事 | 配置計画<br>構造計算 | 機器配置スペースおよびメンテナンススペースを十分確保するとともに、機器及び凝集剤等を搬入出できるよう、十分な大きさの搬入口、十分な建屋高さを備えること。建屋および基礎の構造強度は「下水道施設の耐震対策指針と解説-2014年版-」(社)日本下水道協会)における、構造形Ⅴ類(建築構造物)の性能を確保すること。 | 基礎に関する構造計算を追記すること。    | 追記した。      |

## 技術提案の改善過程

|          |   |
|----------|---|
| 工事件名     | 都市計画事業 中部浄化センターA消化槽建設工事(7001工区)【総合評価方式】 |
| 発注者名     | 熊本市上下水道局                                |
| 入札公告     | 平成 29 年 9 月 13 日                        |
| 技術提案の提出  | 平成 29 年 11 月 28 日                       |
| 技術対話     | 平成 29 年 12 月 7 日                        |
| 技術提案の再提出 | 平成 30 年 1 月 25 日                        |

【技術提案の改善に係る過程の概要：株式会社 神鋼環境ソリューション 九州支社】

| 項目  | 内 容 | 要求事項(概要)                     | 市からの改善要請事項           | 競争参加者の改善状況 |
|-----|-----|------------------------------|----------------------|------------|
| 試運転 | 試運転 | 試運転完了については立ち上げまで行い、市に引き渡すこと。 | 立ち上げ完了の指標を詳しく記載すること。 | 詳しく記載した。   |

## 技術提案の改善過程

|          |   |
|----------|---|
| 工事件名     | 都市計画事業 中部浄化センターA消化槽建設工事(7001工区)【総合評価方式】 |
| 発注者名     | 熊本市上下水道局                                |
| 入札公告     | 平成 29 年 9 月 13 日                        |
| 技術提案の提出  | 平成 29 年 11 月 27 日                       |
| 技術対話     | 平成 29 年 12 月 7 日                        |
| 技術提案の再提出 | 平成 30 年 1 月 25 日                        |

### 【技術提案の改善に係る過程の概要：メタウォーター 株式会社 九州営業部】

| 項目     | 内 容          | 要求事項(概要)  | 市からの改善要請事項             | 競争参加者の改善状況   |
|--------|--------------|---|------------------------|--------------|
| 消化設備   | 消化日数         | 消化日数は30日程度を上限の目安とすること。  | 詳しく明示すること。             | 明示した。        |
| 電気設備   | 運転操作設備       | 自動運転に必要な制御回路は、本工事にて設置する動力制御盤にて構築するものし、運転維持管理に必要な現場操作盤は、本工事にて設置する。   | 消化槽攪拌機の現場操作盤の追記を行うこと。  | 追記した。        |
| 基礎工事   | 構造計算         | 基礎については、その形状より、「下水道施設の耐震対策指針と解説-2014年版-」(社)日本下水道協会)における、構造形Ⅲ類(版状構造物)となるため、この構造形に則した構造計算(耐震計算)を行うこと。   | 地盤種別、地域係数の決定根拠を追記すること。 | 追記した。        |
| 建築工事   | 配置計画<br>構造計算 | 機器配置スペースおよびメンテナンススペースを十分確保するとともに、機器及び凝集剤等を搬入出できるよう、十分な大きさの搬入口、十分な建屋高さを備えること。建屋および基礎の構造強度は「下水道施設の耐震対策指針と解説-2014年版-」(社)日本下水道協会)における、構造形Ⅴ類(建築構造物)の性能を確保すること。 | 地盤種別、地域係数の決定根拠を追記すること。 | 追記した。        |
| 安全性    | 安全性          | 安定運転と安全性について考慮すること。   | 消化槽引抜弁の動作方式の変更を行うこと。   | 指摘に基づき、改善した。 |
| 維持管理計画 | 維持管理計画       | 要求水準書に記載する項目について、提案すること。  | 維持管理表の追記を行うこと。         | 追記した。        |